

後期基本計画 令和元年度 施策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：02 総合計画の推進と未来の価値の創造

施 策：01 総合計画を軸としたマネジメントの推進

施策担当職・氏名	企画政策課 総括主査 山本 和広
-----------------	------------------

1. 施策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>第1次滝沢市総合計画後期基本計画の確実な推進のため、トップマネジメントに基づく円滑な行政運営を進めるとともに、滝沢市を取り巻く内外の社会環境の変化を的確に捉え、柔軟に対応する行政改革を展開します。また、毎年度の市長方針に基づく各政策、施策の展開と評価を実施し、幸福感を育む環境づくりを図ります。</p>
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単 位 %	68.6	75.6	77.1	78.5	80	80	C
			70.6	-	-	-	-	17.5
	単 位							
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	3799 行政改革推進事業 働きやすい職場と感じている職員の割合 単 位 %	目標値	0	0	0	69.3	72.9	76.5
		実績	0	0	65.7	67.7	-	-
2	3837 総合計画マネジメント事業 市民アンケート調査回収率 単 位 %	目標値	39	40	41	42	43	44
		実績	33.3	31.7	33.6	35.1	-	-
3	3884 滝沢市総合計画審議会事務 総合計画審議会開催数 単 位 回	目標値	2	3	9	3	3	7
		実績	3	3	5	2	-	-
4	7882 広域連携事業 盛岡広域連携都市圏ビジョン新規事業数 単 位 件	目標値	250	250	250	4	4	5
		実績	217	217	219	2	-	-
5	7992 トップマネジメント推進事業 市長の方針や意思を職員に伝える機会の創出 単 位 回	目標値	6	6	6	6	6	6
		実績	6	6	7	6	-	-

後期基本計画 令和元年度 施策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：02 総合計画の推進と未来の価値の創造

施 策：01 総合計画を軸としたマネジメントの推進

施策担当職・氏名 企画政策課 総括主査 山本 和広

2. 施策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

D	達成できなかった
滝沢地域社会に関するアンケート調査において、滝沢市は住みやすい市であると感じている人の割合は令和元年度の数値で70.6%となり前年度より2.0%上回っていますが、経年比較では、ゆるやかな減少傾向となっています。また、居住年数が少ない方の評価が低いことから、新たに転入された世帯への満足度向上も必要であり、今後も検討を重ねていきます。	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】 職員、地域づくりのリーダーを対象とする総合計画の理解を進める仕組み作りと「幸福感を育む環境づくり」に向けた取組の展開を市民に知っていただくための取り組みの検討と実践。 【重点課題に対する達成状況】 ・取り組みの検討を広い視野で進めるため、大学や民間企業と連携強化を行いました。特に、大学とは調査を含め、政策課題実習への取り組みなど、大学と繋がる仕組みづくりを構築した。	

3. 施策の実現に向けての令和元年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
少子高齢化の進展やそれに伴う社会保障費が増、税収が減少する背景の中で地域における社会関係資本の強化と補完性の原理に基づく役割分担が求められています。一方で、これらの課題については日本国内の多くの地方で課題とされており、共通の問題であると考えます。そのような中であって、地域における強み弱みを再認識し、地域に即した社会関係資本の強化、補完性原理に基づく役割分担、更には産業振興などの活動に繋がる取り組みが重要となっています。	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
基本施策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

A	課題なし
【今後の方向性】 住み続け、選ばれる市となるため、トップマネジメントに基づく各政策、施策の確実な展開と評価を展開する必要があります。同時に、市民の活動に繋がるための具体的な成功事例に繋がる取り組みを重視していく必要があります。 【引継課題】 市長方針をふまえた事務事業の確実な実施を進めると共に、第2次滝沢市総合計画の検討と策定に向けた検討を重ねる必要があります。	

